



目次

- 2 釜石港ガントリークレーン贈呈式
- 4 「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催しました！
- 6 浄化槽出前講座を開催しています！
- 8 さんさ踊り いわて花巻空港 PR 隊 出陣！
- 8 「学校では受けられない授業in伊丹空港」開催
- 9 「カスリン・アイオン台風 70 年水防災フォーラム」を開催します！
- 11 いわて花巻空港スカイフェスタ 2017 のご案内

美しい 県土づくりNEWS

2017年

8月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 157 号
平成 29 年 8 月 31 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

ガントリークレーン、大阪府から岩手県へ！ ～釜石港の物流機能が大きく向上し、震災復興へ前進～

港湾課

大阪府からの復興支援の一環として、高い荷役能力を持つガントリークレーンを大阪府から岩手県へ無償譲渡いただくこととなり、8月3日に、大阪府庁においてガントリークレーン贈呈式が行われました。

ガントリークレーンの導入は本県初となります。クレーンは8月17日に釜石港へ入港し、現在、9月末の供用開始に向けて作業を進めています。



ガントリークレーン贈呈式に先立って、達増知事が大阪府堺泉北港にある実機を視察

釜石港ガントリークレーン贈呈式

港湾課

大阪府は、東日本大震災津波発災以後、継続的に本県へ復興支援を行っていただいています。今回、職員の派遣など人的支援のほかにも更に岩手県の復興に役立てたいとのことから、ガントリークレーンの無償譲渡を決定していただきました。

8月3日に大阪府庁において行われたガントリークレーン贈呈式には、感謝の意を表するため達増知事が出席し、松井 大阪府知事からキーレプリカが贈呈されました。

このレプリカは大阪府職員の手作りによるもので、大きなものの他に、持ち帰り用の小さなものまで作っていただき、大変和やかな雰囲気となりました。また、式の前には実機の視察を行い、知事には運転席を体験していただきました。

ガントリークレーンは、8月13日に大阪府堺泉北港を出発し、8月17日に釜石港へ無事入港しました。現在、9月末供用開始に向けて作業を進めています。釜石港では、今秋には外貿ダイレクト航路の開設が予定されており、本県初となるガントリークレーンの導入により、コンテナ貨物量が飛躍的に増大することが期待されます。

今回の譲渡は、大阪府からの応援職員の橋渡しによって実現したものです。大阪府からの復興支援のシンボルとして大いに活用していきます。



松井 大阪府知事からキーレプリカ贈呈。
「三陸復興」ロゴ入りの手作りのキーレプリカに、大阪府職員の想いが詰まっています。



松井知事退席後、竹内副知事はじめ式に出席のみなさんと。
(胸ポケットには記念の小さいレプリカも。)



視察では、達増知事にクレーンの運転席(地上約30m!)を体験していただきました。



巨大なクレーンは、台船にそのまま載せて輸送しました。

8月13日に堺泉北港を出港し、8月17日に無事に釜石港に入港しました。

岸壁と台船の間の積み降ろしは、仮設レールを渡して、その上をウインチで引っ張りました。

釜石港に上陸したガントリークレーン。後ろに見える暗緑色のクレーンは、これまでコンテナの積卸しに使用してきた「ジブクレーン」です。

比較すると、ガントリークレーンの大きさが伝わります。

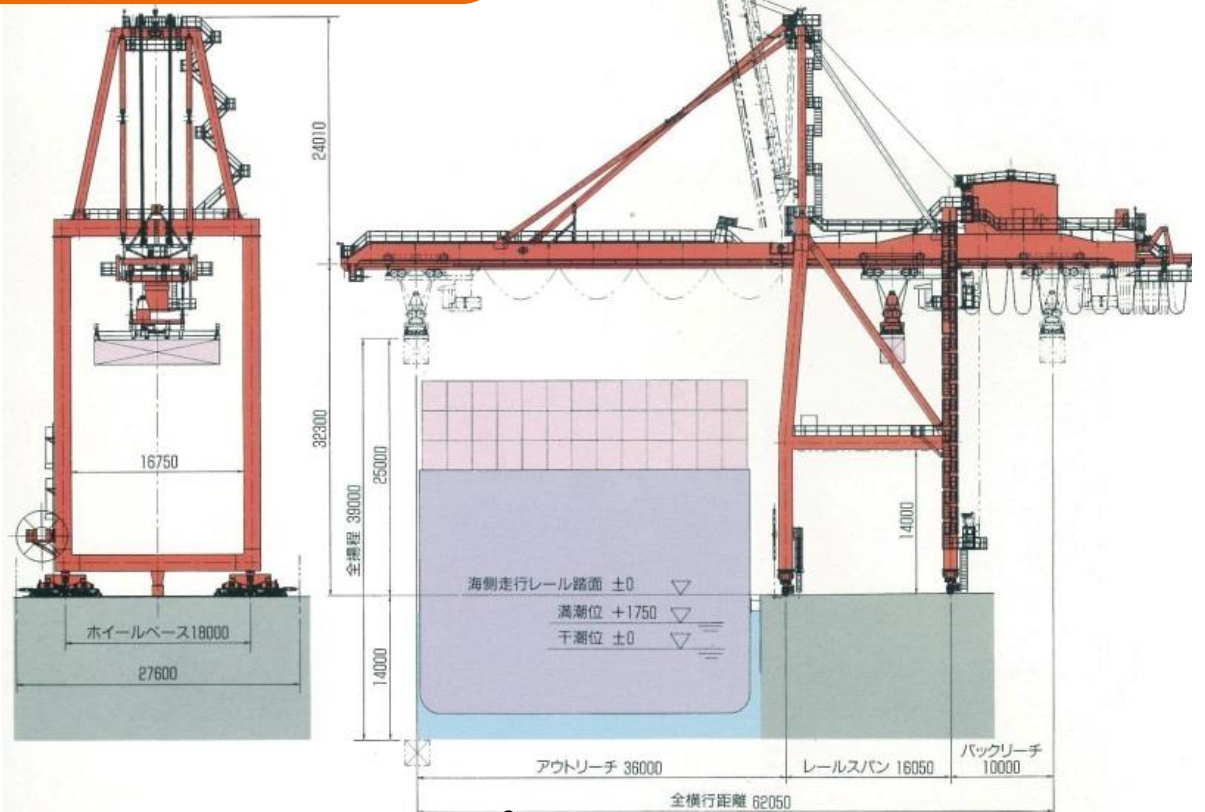


【ガントリークレーンの寸法】

船舶の入出港時にはブーム（竿の部分）を揚げますが、その際の高さは地上から約76m！（60.6mの県庁舎より高い！）

自重は約550t！

その巨大さがわかります。



「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催しました！

河川課

今年も県内各地のダム周辺で『森と湖に親しむ旬間』（毎年7月21日から31日まで）の関連イベントが開催され、沢山の家族連れや地域の方々にご参加いただき、大いに賑わいました。県営7ダムについて、その模様をお知らせします。

網取ダム（盛岡市） 「森と湖・in 網取」2017！ 開催日：平成29年7月26日（水）



魚のつかみ取り

天候に恵まれ、多くの方々に訪れていただきました。魚のつかみ取りでは、子供達が夢中になって楽しんでいました。

<実施内容>

植物観察と森林浴、ダム施設見学会、湖面パトロール、木工教室、魚のつかみ取りほか

<参加人数>

173名

早池峰ダム（花巻市） 「早池峰ダム」森と湖に親しむ子どもまつり 開催日：平成29年7月27日（木）



湖面パトロール

晴天のもと、幅広い年代の方々に訪れていただきました。特に人気だった湖面パトロールでは、子供達を中心に楽しんでいました。

<実施内容>

ダム・発電所施設の公開、湖面パトロール、木工細工教室、魚のつかみ取り、ダムライトアップほか

<参加人数>

179名

入畑ダム（北上市） 「遊・YOU・入畑・2017！」 開催日：平成29年7月29日（土）



ダム施設一般公開

雨天にもかかわらず、多くの方々に訪れていただきました。ダムの構造を学ぶ施設一般公開と西和賀キッチンカーのソフトクリームは、特に好評でした。

<実施内容>

ダム施設一般公開、湖面パトロール、木工教室、四会場スタンプラリーほか

<参加人数>

339名（全4会場合計）

日向ダム（釜石市） 「日向ダム湖畔の集い」

開催日：平成29年7月29日（土）



木工教室

各イベントとも、多くの親子連れに参加していただきました。特にダム施設一般公開と木工教室が人気で、来年も参加したいという声が多く寄せられました。

<実施内容>

ダム施設一般公開、魚のつかみ取り、木工教室、湖面パトロールほか

<参加人数>

238名

鷹生ダム（大船渡市） 五葉湖畔の集い「げんきです！水と緑の鷹生ダム」 開催日：平成29年7月30日（日）



気仙スギ積み木競争

各イベントとも、たくさんの方々に訪れていただきました。中でも気仙スギ積み木競争では、自分の背丈程に積上げる子もいて、大いに会場を沸かせていました。

<実施内容>

ダム施設見学、グラウンドゴルフ大会、クップ体験、気仙スギ積み木競争ほか

<参加人数>

528名

遠野第二ダム（遠野市） 森と湖に親しむ「遠野第二ダム」の集い・2017 開催日：平成29年7月30日（日）



ダム施設見学

地元の子供たちのほか、滝沢市からの参加もありました。ダム施設見学、ダム湖面巡視体験が特に人気であり、楽しんでいる様子でした。

<実施内容>

ダム施設見学、ひとふでんず、湖面パトロール、木工教室ほか

<参加人数>

47名

滝ダム（久慈市） 久慈・長内川の「滝ダム学習」と「川まつり」 開催日：平成29年8月6日（日）



カヌー・カヤック体験

今年は特に盛況で、過去2番目の参加者の多さとなりました。参加者はカヌー・カヤック体験等を通して水と親しみ、思い出に残る1日を過ごしたようです。

<実施内容>

ダム施設見学、滝発電所公開、カヌー・カヤック体験、魚のつかみ取りほか

※ダム施設見学は7月29日（土）開催

<参加人数>

滝ダム学習：46名、川まつり：約1,200名

浄化槽出前講座を開催しています！

下水環境課

下水環境課では、環境教育活動への支援を図ることを通して浄化槽などの汚水処理施設の普及啓発を目的とし、小学校等を対象に平成20年度から公益財団法人下水道公社と連携して「下水道出前講座」、平成21年度から公益社団法人岩手県浄化槽協会と連携して「浄化槽出前講座」を開催しています。

＜浄化槽出前講座の取組状況＞

小学校の社会科教育への支援を通じた汚水処理施設の普及啓発を図ることを目的に、下水環境課と岩手県浄化槽協会が県内の小学校を訪問し、水の循環や汚水処理の大切さについての講義を行っています。参加した児童たちには、浄化槽模型による学習や、浄化槽から採取した微生物の観察などを通じて、理解を深めてもらっています。

今年度は8月現在、一関市立舞川小学校など2校を訪問し、24名の児童に講義を行いました。取組みを開始した平成21年度から述べ54校、746名の児童が受講しています。

今後も「水の循環と汚水処理の大切さ」を子供たちに伝え、汚水処理施設の普及や水洗化人口割合の向上につながるよう取り組んでいきます。



「水の循環」や汚水処理のしくみなどについて、現地の浄水場や浄化センターなどの写真も用いて説明し、児童に質問などをしながら講座を行いました。



浄化槽から採取した微生物を顕微鏡で観察しました。微生物の力で水の汚れをきれいに行っていることに非常に興味を持ち、驚いていました。

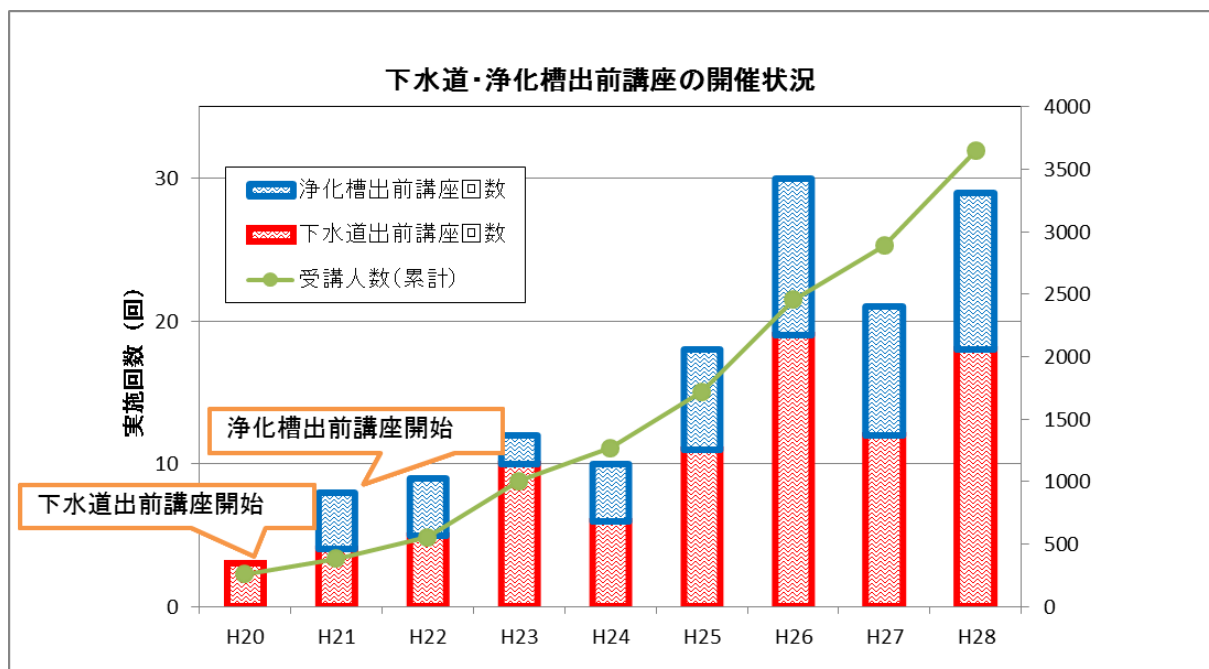
＜これまでの受講児童の感想＞

- これからは習字や絵の具を片付けるときに、紙で拭き取ってから洗うようにします。
- 油がついた皿はキッチンペーパーでふき取ってから洗うよう気を付けます。
- 私たちが汚した水は、微生物がきれいに行っていたことが分かってびっくりしました。
- 水の汚れを少なくするために、みそ汁や牛乳などをなるべく残さないようにしたいです。
- 私たちが使っている水は、循環していることが分かりました。
- 家族にも今日の話をして、水を大事に使っていきたいと思いました。

<その他今年度の取組について>

- 下水道区域については、公益財団法人岩手県下水道公社が下水道出前講座を実施しています。
- 9/10の「下水道の日」に合わせて、9/9（土）に都南浄化センターにおいて施設見学会「下水道探検ツアー」を実施します。
- 10/7（土）岩手県環境保健研究センターの一般公開に併せて下水道・浄化槽出前講座の実施を予定しています。
- 8月現在の申し込み状況（開催済の学校も含む）
 - 浄化槽出前講座…8校 100名
 - 下水道出前講座…12校 474名

<下水道・浄化槽出前講座の開催状況>



平成28年度までに、下水道出前講座88回、浄化槽出前講座52回、合わせて延べ3,650人が受講。

さんさ踊り 2017 いわて花巻空港 PR 隊 出陣！

8月1日、多くの方が訪れる盛岡さんさ踊り2017の機会を利用して、いわて花巻空港の利用をPRしました。

日本航空(株)、(株)ジェイエア、(株)フジドリームエアラインズ、日本通運(株)、(株)エスエーエス及び岩手県空港ターミナルビル(株)の皆様と空港課職員合同による「いわて花巻空港PR隊」がパレードに参加しました。



(左から順に、日本航空(株) 柏瀬之執行役員、(株)ジェイエア 大貫哲也代表取締役社長、県土整備部 中野穰治部長、(株)フジドリームエアラインズ 三輪徳泰代表取締役社長、藤澤隆雄花巻空港支店長)

「学校では受けられない授業 in 伊丹空港」開催

岩手の将来を担う子ども達へ「空の仕事」の就業体験を提供するため、岩手県内の中学生20名を対象に、大阪国際空港(伊丹空港)において、「学校では受けられない授業 in 伊丹空港」を開催しました。

模型機内を使ったサービス提供体験や緊急脱出訓練体験、機内食の体験やドッグエリアの見学などを通じて、参加者の皆さんは、快適な空の旅を提供するために多くの人が携わり努力していることについて、理解を深めたようでした。



「カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム」を開催します！

河川課

1. 開催趣旨

昭和22年・23年に相次いで来襲したカスリン・アイオン台風は、各地で甚大な被害をもたらしました。

それから70年が経過し、水害の常襲地帯だった一関・平泉地区では、遊水地や堤防などの治水施設を原風景と捉える世代となり、水害に対する防災意識は薄れつつあります。一方で、短時間の集中豪雨や局所的な豪雨等により、施設機能を上回る洪水の発生頻度が高まることが予測されています。

そこで、カスリン台風から70年の節目に、これまでの水災害の教訓と近年の気象状況などを知り、そして、地域の未来のために、安全を守る「水防災」を一緒に考える機会として、「カスリン・アイオン台風70年水防災フォーラム」を開催します。

2. イベント概要

1. イベント名 カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム

2. 開催日時 平成29年9月9日(土) 10:00~16:30

3. 会場 一関文化センター(大ホールほか)

4. 開催内容

・基調講演

「カスリン・アイオン台風70年に思う」

高崎哲郎氏(作家・土木史研究家)

「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」

～自分の命は自分で守る!～

大隅智子氏(気象予報士・防災士)

・パネルディスカッション

テーマ:「水防災意識社会」の再構築を考える

コーディネーター 岩手大学名誉教授 平山 健一 氏

パネラー 一関商工会議所会頭 佐藤 暁僖 氏

中里まちづくり協議会会長 辻山 慶治 氏

気象予報士・防災士 大隅 智子 氏

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長 清水 晃 氏

岩手県県土整備部河川港湾担当技監 八重樫 弘明

・その他、アトラクションやパネル展示等を実施

3. その他

・フォーラムへの参加は無料です(事前申し込み不要)。

・当日は一関市役所から無料のシャトルバスが運行しますので御利用ください。



『カスリン・アイオン台風70年』
～風化させない歴史とつなげる未来～

カスリン・アイオン台風70年

水防災フォーラム

日時 平成29年
9/9 土
10:00～16:30

参加費無料

会場 一関文化センター
【大ホール】

〒021-0884
一関市大手町2-16
TEL.0191-21-2121



GoogleMapで見える



風化させない歴史とつなげる未来

開催
主旨

昭和22年・23年に相次いで来襲したカスリン・アイオン台風は、各地で甚大な被害をもたらした。それから70年が経過し、水害の常襲地帯だった一関・平泉地区では、遊水池や堤防などの治水施設を原風景と捉える世代となり、水害に対する防災意識は薄れつつある。一方で短時間の集中豪雨や局所的な豪雨等により、施設機能を上回る洪水の発生頻度が高まることが予測されている。

そこで、カスリン台風から70年の節目に、これまでの水災害の教訓と近年の気象状況などを知り、そして、地域の未来のために、安全を守る「水防災」を一緒に考えてみませんか。

無料
シャトルバス運行
(会場 ↔ 一関市役所)
会場の駐車場はスペースが少なく、満車の際は周辺の市営・民間の駐車場をご利用ください。また、一関市役所～会場間で無料シャトルバスを運行いたしますので、こちらをご利用ください。

13:00～ 基調講演



「カスリン・アイオン台風70年に思う」

【講師】高崎 哲郎 氏
■ 作家・土木史研究者

「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」

～自分の命は自分で守る!～

【講師】大隅 智子 氏
■ 気象予報士・防災士

NHK盛岡放送局
「おぼんですいわて」の
気象キャスターとして出演中!



15:15～ パネルディスカッション

テーマ「水防災意識社会」の再構築を考える

- コーディネーター 平山 健一 氏 岩手大学名誉教授
- パネラー 佐藤 晁 氏 一関商工会議所会頭
- 辻山 慶治 氏 中里まちづくり協議会会長
- 大隅 智子 氏 気象予報士・防災士
- 八重樫 弘明 氏 岩手県県土整備部河川港湾担当技監
- 清水 晃 氏 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長

10:00～ ステージ・アトラクション

- 舞川鹿子躍
- 一関市消防団総組
- 平成28年度「土砂災害防止に関する作文」入賞作品発表会
- アイオン台風体験「生きる」千葉貞子さんによる紙芝居と体験談
- 「北上川」記録映像放映

終日 展示：1Fホール及び展示室

- 一関市
 - ▶ 一関市立滝沢小学校の学習展示
 - ▶ 防災グッズ展示
- 岩手県
 - ▶ 最近の治水事業について
- 岩手河川国道事務所
 - ▶ パネル展「風水害の歴史を知り、未来の備えに」
 - ▶ 一関今昔写真展「台風被害から70年」

共催 一関市、岩手県、一関商工会議所、北上川「流域圏」フォーラム実行委員会、国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

協賛 (一社)東北地域づくり協会

後援

岩手日日新聞社、岩手日報社、ICN一関ケーブルネットワーク、一関コミュニティFM株式会社

お問い合わせ

一関市 建設部 治水河川課
TEL.0191-21-8501
岩手河川国道事務所 調査第一課
TEL.019-624-3166

いわて花巻空港 「スカイフェスタ 2017」のご案内

空港課

9月23日（土・祝）、いわて花巻空港において「スカイフェスタ 2017」が開催されます。

防災ヘリや化学消防車によるデモンストレーションや、着せ替え体験コーナー、エプロン部分から間近に見る航空機などは毎年子どもたちに人気です。今回は、新しいイベントとして、マーシャリング（手信号で飛行機を誘導する業務）体験イベントを行います。

航空機や空港で使用する特殊車両に間近で触れられる、年に1度の貴重な機会ですので、皆様お誘いあわせの上、是非ご来場ください！

～イーハトーブの風に乗って～
いわて花巻空港
スカイフェスタ
今までも そして、これからも
2017
開催日/ **9/23 (土・祝)** 入場 無料
時間/ **10:00**から**15:30**まで
会場/ いわて花巻空港 ウェストエプロン地区
(国道4号・花巻市交流会館側)

当日のイベント (主なもの)
 ① 防災ヘリによる救助デモンストレーション
 ② 化学消防車による放水デモンストレーション
 ③ 消防体験コーナー (乗車、着せ替え等の体験)
 ④ 出店コーナー (航空関連グッズ、食べ物等の屋台)
 ⑤ 管制塔・気象室見学 **事前予約制**
 ⑥ フェスタ限定小型機遊覧飛行 **事前予約制 (有料)**

サブイベント
「花巻空港バックヤードツアー」
 日時 **9/24 (日)** 12:00受付 15:00終了予定
 内容/ 航空教室・バスからの滑走路見学等
事前予約制 対象/ 小学4年生～中学3年生

※当日の天気や主催者の都合によりイベント内容が変更になる場合があります。事前予約の応募方法、イベント詳細等は、ホームページをご確認ください。 写真提供 スカイフェスタ

お問い合わせ先：花巻空港事務所(事務局) TEL.0198-26-2016 E-mail: CF0003@pref.iwate.jp

当日の主なイベント

- 防災ヘリによる 救助デモンストレーション
- 化学消防車による 放水デモンストレーション
- 消防体験コーナー
- 出店コーナー

<事前予約制>

- 管制塔・気象室見学
- フェスタ限定小型機遊覧飛行

問い合わせ先

花巻空港事務所
電話：0198-26-2016